

# 農業技術学習支援システムの概要

- I. マニュアル化が困難とされてきた熟練者の農業技術をICT技術で「見える化」し若手や新規就農者の技術習得に活用できるシステム。  
農業人口の減少の対策として、熟練農家の技術やノウハウをデータ化し、そのデータをタブレット端末などで参照して学習することで、新規就農者でも短期間で熟練農家の高度な栽培技術を身につけることができ、農業人口の確保、産地としての維持、就農者の生計の早期成立が可能になる。
- II. 気温上昇や干ばつへの対応のノウハウをコンテンツに加えることにより、生産者に対応策を広めることができる。これにより、**温暖化や干ばつへの対応が可能**になる。



# 農業技術学習支援システムの環境効果

国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）が示す「気候変動がもたらす8つのリスク」の内、本ソリューションにより軽減できるリスク。

（「気候変動がもたらす8つのリスク」は次ページ参照）

（冒頭の番号は「気候変動がもたらす8つのリスク」の番号に対応）

## ⑤ 気温上昇、干ばつ等による食料安全保障が脅かされるリスク

気温上昇や干ばつへの対応のノウハウをコンテンツに加えることにより、生産者に対応策を広めることができる。これにより、**温暖化や干ばつへの対応が可能になり、食料安全保障が脅かされるリスクへの対応が可能**になる。

## ⑥ 水資源不足と農業生産減少による農村部の生計及び所得損失のリスク

新規就農者や未熟練者が事前学習することにより、効果的・効率的な作業を身につけることができ、生産性を維持・拡大することができる。また、農業人口の減少の対策として、新規就農者が短期間で農業技術を習得することにより、**農業人口の確保、産地としての維持、就農者の生計の早期成立ができ、農村部の課題である高齢化及び後継者不足が改善され、農村部の生計及び所得損失のリスクへの対応が可能**になる。

# 気候変動がもたらす8つのリスク

出典：IPCC第5次評価報告書(2014)



① 海面上昇、沿岸での高潮被害などによるリスク



② 大都市部への洪水による被害のリスク



③ 極端な気象現象によるインフラ等の機能停止のリスク



④ 熱波による、特に都市部の脆弱な層における死亡や疾病のリスク



⑤ 気温上昇、干ばつ等による食料安全保障が脅かされるリスク



⑥ 水資源不足と農業生産減少による農村部の生計及び所得損失のリスク



⑦ 沿岸海域における生計に重要な海洋生態系の損失リスク



⑧ 陸域及び内水生態系がもたらすサービスの損失リスク